

## ⑧トイレ動作訓練等

- ▶▶ 排尿機能は正常にも関わらず、身体機能や認知機能の低下のために生じる尿失禁を **機能的尿失禁**と呼ぶ。

Evidence ▶▶ 特になし

適応 ▶▶ 機能的尿失禁に該当する患者

- ▶▶ トイレ動作とは

トイレ動作は、**尿・便の排泄動作を行うための一連の身辺動作**を指しており、その動作には起居・移乗・更衣など複合的な要素が含まれている。

- ▶▶ トイレ動作の要素

- ・尿意、便意を感じる ・起き上がる、立ち上がる(移乗する)
- ・トイレ(排泄場所)が認識できる ・トイレ(排泄場所)まで移動する
- ・ドアの開閉 ・便座の蓋を開ける ・下衣の上げ下げ ・便器に座る
- ・陰部清拭 ・水を流す ・手を洗い拭く ・部屋に戻る

- ▶▶ 評価

トイレ動作を自立に導くためには上述の一連の動作の可否を確実にかつ適切に評価し、各能力の底上げを図る。

- ▶▶ 治療・動作訓練

普段のADL動作練習同様に、機能的治療は重要であり、筋力や関節可動域、バランス機能など個別機能の底上げが必要である。その上で個々の具体的な動作練習を行うことが大切である。トイレ動作練習も、始めは**手順や環境をできるだけ単純・簡素化**し、フェーズごとに分解した練習が必要な場合がある。最終的には**実際に動作を行う環境、もしくはできるだけ近づけた環境**で練習を行い、環境設定や手順が適切か、また介助が必要であればどの程度介助すれば自立支援につながるのかを評価し、環境を整える。

- ▶▶ 訓練の一例

下衣の上げ下げ自立を目指した訓練の様子

セラバンドを使用した練習



前方リーチ制御の練習

